

## 住職の写真日記より【令和3年3月】

私は、毎朝3時半に起きるので、夜が明けるのが早くなっているのを実感します。5時におあさじして、5時10分に門と車庫を開け、ゴミを出し、新聞を取るのが毎朝の日課です。今シーズンは昨年より雪が少なかったようで助かりました。まもなく新年度ですね。



3日 小型二輪免許取得

京都の息子が、原付では捕まってばかりなのでと、25ccまで乗れる免許を。安全運転をしてほしいです。



10日 初孫さんと

伊達市の住職は私と同じ年、そろそろ孫さんが産まれる年代になってきてるんだな。



10日 下がり藤のマスク

知り合いの住職さんからいただきました。今ではいろんなマスクが出てますね、



11日 3. 11東日本大震災「追悼の鐘」

この日、2時半に本堂でおつとめをした後、震災発生時刻に鐘をつきました。数人の方が来てくれました。右は、10年前の3月11日の女川市内のある住宅、屋根に車が乗っかっているという信じられない写真。



19日 13年間乗りました

毎日のお参りの足となってくれた愛車とのお別れの日に記念写真。総走行距離は、156,75kmになりました。



20日 福島から北海道へ

以前、うちのお寺に保養に来ていたご家族。思い切って北海道に移住し、この日遊びに来てくれました。



26日 恵庭敬念寺前住葬儀

行年94歳。50年以上も住職をつとめました。大変面目で、仏事作法等にとても厳しい方がありました。

## 坊守の独り言

新年度がスタートしました。

コロナ前から時代にあった法要の在り方、お寺の運営に変えて行かなくちゃ。と思いながらも一步踏み出すことが出来ませんでした。コロナを機に今までの法要・行事を守りつつ少しづつ形を変えて動き出します。

「淨土真宗のみ教えの伝道」を軸に、法要時間の短縮、会費納入方法、地区委員さんの活動などコロナ後の日常も見据えて。まだ緊張感を持ちながらの生活ですが、お寺との関係がホッと出来たり、心の安心に繋がる日常になっていければ千正寺の存在意義があるのでしょうか。